

中学生海外派遣事業

昨年10月1日から10日まで、未来を担う市の中学生26人が、田村市の姉妹都市であるアメリカ合衆国のマンスフィールド市へ研修に行ってきました。研修生はアメリカの歴史と文化に触れ、国際交流の感覚を養うとともに、ホームステイしながら、現地の生徒と積極的に交流。英語で田村市を紹介するなど、語学力を磨きました。10日間の研修を終え、研修生は達成感と自信に満ちた表情で帰国しました。今回は、研修生の感想を一部紹介します。



田村の中学生、異文化を学ぶ。



滝根中学校 3年 鈴木 萌子 さん

アメリカの人々は、自分らしく誇りを持っていると思いました。日本人は謙遜(けんそん)することが多いのですが、アメリカ人は自分をきちんと主張することができています。これからの自分に生かしていきたいと思いました。



大越中学校 2年 新田 遼 さん

この研修を通して一番印象に残っていることは、日本との文化の違いです。チップや風呂場、食事のマナーなどの日本とは大きく違う文化に触れることができ、自分の視野がより広がった気がします。



船引南中学校 3年 渡邊 美海 さん

アメリカの習慣を体験して、視野が広がり、物事を多方面から見ることができるようになりました。これから何か物事を考えるときは、一方に偏らずに、さまざまな面から向き合っていきたいです。



船引中学校 2年 玄葉 丈太郎 さん

アメリカ人にはとても積極性がありました。遠慮すると不思議がられるような感じでした。日本人は、それがあまりできず控えめになってしまいます。僕たちはもっと積極的にならなければならぬと思いました。



常葉中学校 3年 坂本 捺美 さん

違う文化を理解することがとても大切だと思いました。肌や髪の色、生まれた国や文化の違いなどで判断するのではなく、相手の個性を尊重し、自分の考えをはっきり言うような人になりたいと強く思いました。



移中学校 3年 石井 歩 さん

私は失敗を恐れずに英語を話すことを心がけました。失敗することもありましたが、多くの人とコミュニケーションをとることができ、関係を築くことができました。失敗を恐れずにチャレンジすることの大切さを学びました。

